

サステイナブルシステム科学研究科 ヘルスケアシステム科学専攻（博士前期課程）カリキュラムマップ

アドミッション・ポリシー

地域に根ざしたヘルスケアの体系的な構築や医療機器の開発をとおり、持続可能なコミュニティづくりに貢献できる人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を備えた入学者を求める。

研究科のアドミッション・ポリシー

①本学の学士課程が有する生産システム科学、保健医療、国際文化交流の各学部およびこれに相当する高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する実習を了えた者。

②地域と世界の持続可能性への高い志を有し、持続可能な社会実現のために、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれず、活用可能なアイデアを現場と連携して創出することに強い興味と意欲を持つ者。他分野にも関心をもち、人類全体と身近な生活圏の持続可能性に係る課題発見・解決への粘り強い意欲を示す人。

③個々の専門性を深めるなかで、国内外の研究者に対して共鳴力と協調性をもってコミュニケーションでき、生命の尊厳と人間性を重んじる倫理観をもって課題に向き合う人。

専攻のアドミッション・ポリシー

④本学保健医療学部が授与している学位（看護学、臨床工学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。

⑤持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。

⑥人々の健康と幸福に寄与するための高い志をもち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

カリキュラム・ポリシー

本研究科では、生産・ヘルスケア・グローバル文化がクロスオーバーする中で工・医・文の共創力が養われ、地域およびグローバルな視点からの課題発見・解決への道筋を立てることを教育課程編成の主眼とする。

研究科のカリキュラム・ポリシー

①履修計画及び研究課題の策定にあたり、オリエンテーション・ガイダンスでは、サステイナブルシステム科学の意義と目的を共有し、専攻を超えたコミュニケーションや交流のきっかけを与える。

②他専攻教員も含む複数教員による指導体制を構築し、学生と指導教員が地域課題とグローバル社会の課題を相互共有し、分野横断的なアプローチも含む独創的かつ高度な探求の素地を形成させる。

③研究の発展の基盤となる専門共通・応用科目を配置し、共通リテラシーの修得と持続可能性への多様な視点の涵養を促すとともに、課題選択の可能性を広め独創的な展開に資する基礎を形成させる。

④専門分野に特化した専攻専門科目と他専攻が開講する分野横断的専攻専門科目の履修を通じて、専門分野の特長を際立たせるとともに、他の専門分野との対比・融合を促す。

⑤ケーススタディ、フィールドワーク、インターンシップなどのアプローチを修了研究に含め、学生が個々の課題に創造力をもって実践的かつ総合的に取り組むことによって、研究力さらには社会実装へのポテンシャルを涵養する。

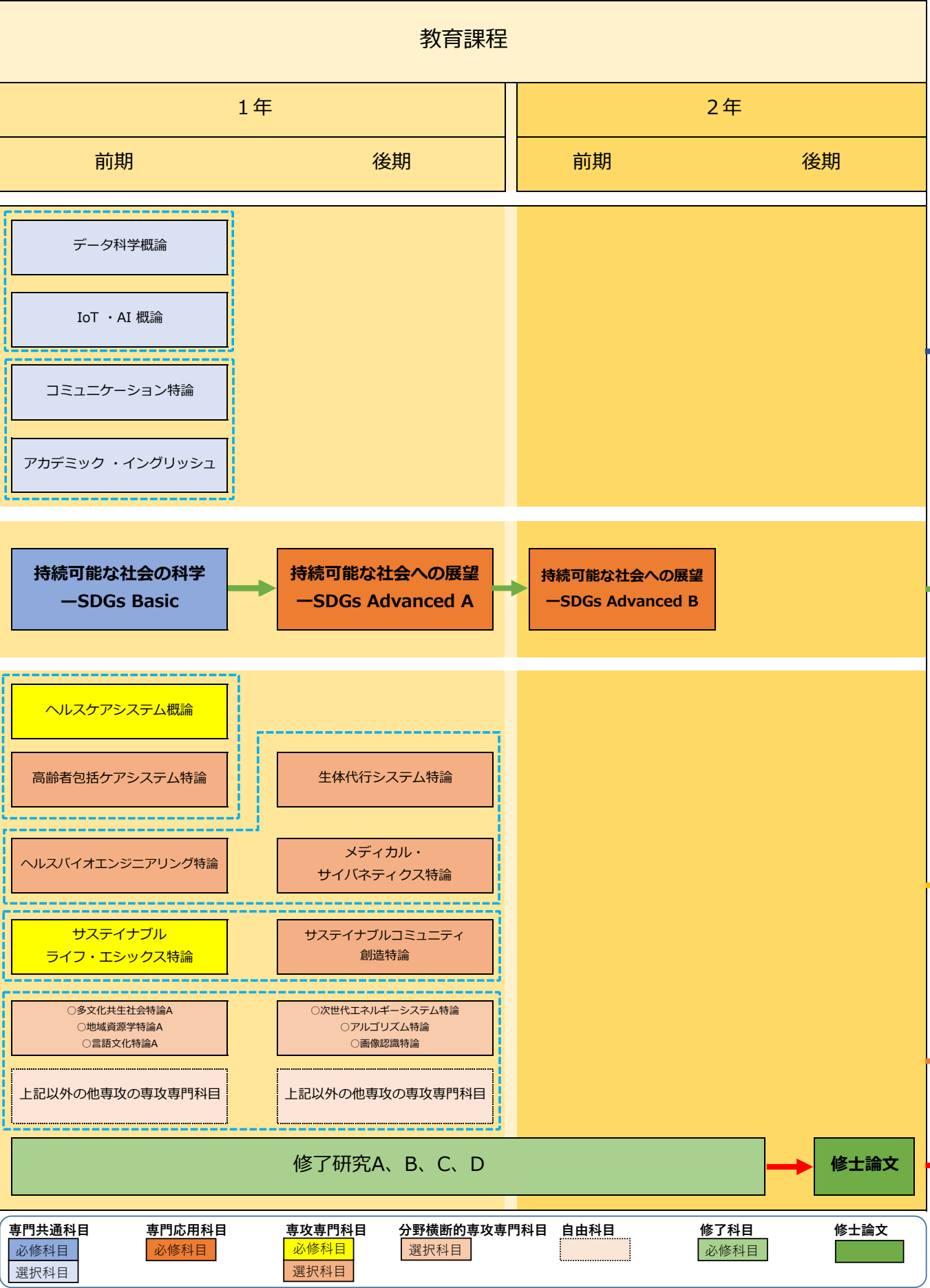
専攻のカリキュラム・ポリシー

⑥過疎化、高度産業化などの社会要因や超高齢化などの生命要因に起因する医療・保健・福祉に関する課題を抽出し、解決への道筋を探る能力を修得する。

⑦病院から在宅まで多様化する医療現場で求められるコミュニケーション能力や共鳴力を涵養し、全人的医療の基礎となる生命・医療倫理に関する知識と考え方を修得する。

⑧未来の包括的体系的ヘルスケアの構築に求められる健康・医療データ・情報の活用、医療技術・機器の知識とそれらを改良・開発するための能力を修得する。

⑨持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創意性を修得する。



学 位

地域の健康と福祉の向上に資する学識、および、持続可能な社会の創出に貢献しうる能力を身に付けたと評価され、ヘルスケアの特定の課題に関する研究成果を纏めた修士論文が審査に合格した学生に修士（保健学）の学位を授与する。

研究科のディプロマ・ポリシー

①専門共通・応用科目を通じて共通リテラシーを修得するとともにサステナビリティへの意識を深め、専門分野においてこれらの学識とスキルを的確適正に駆使することができるかと評価できる。

②持続性に関係すると考えられる地域・世界の課題を客観的な視点をもって探索し、解決へ向けた具体的な道筋を策定する能力を身につけたと評価される。

③他専攻が開講する分野横断的専攻専門科目を通じて、自専攻に限定されない視野と識見を備え、他分野とも協働していく積極的な探求姿勢を有すると評価できる。

専攻のディプロマ・ポリシー

①地域および国際社会の保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門的知識と人間力を備えていると評価できる。

②地域と人々の健康の維持と回復に係る課題の発見と解決に貢献できる能力を身に付けたと評価できる。

③持続可能な社会の実現に向けて、自専攻を超えた学びを行い、他分野とも協働していく幅広い探求心を備えていると評価できる。